

川口市との合併への動き ⑬

合併協定調印式が行われました

1月28日(金)に開催された第4回川口市・鳩ヶ谷市合併協議会終了後、川口市・鳩ヶ谷市合併協定調印式が行われました。

調印式では、来賓の方々や関係者の見守る中、木下鳩ヶ谷市長と岡村川口市市長が合併協定書に署名・押印を行いました。

そして、特別立会人として上田埼玉県知事に、立会人として横道合併協議会会長、野口鳩ヶ谷市議会議長、岩澤川口市議会議長に、ご署名をいただきました。



写真右から、野口鳩ヶ谷市議会議長、木下鳩ヶ谷市長、横道合併協議会会長、上田埼玉県知事、岡村川口市市長、岩澤川口市議会議長



(写真上)
合併協定書に署名・押印する木下鳩ヶ谷市長と岡村川口市市長

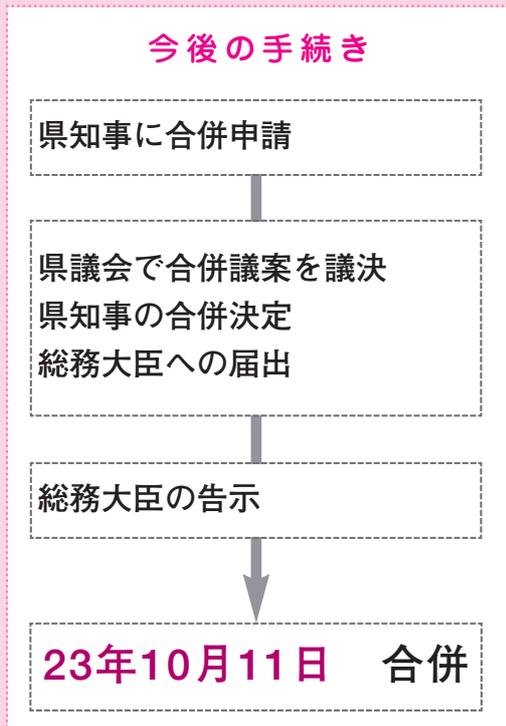
(写真右)
取り交わされた合併協定書



合併協定書とは、これまで川口市・鳩ヶ谷市合併協議会で協議してきた49の合併協定項目の内容について、協議が整ったことを受け、協議内容を取りまとめたものです。

【合併協定書】

合併関連議案が市議会で可決されました



なお、今後の手続きは川口市議会の議決後、左表のとおりです。

- 合併関連議案**
- ① 廃置分合(合併)の申請
 - ② 財産処分に関する協議
 - ③ 議会の議員の定数に関する協議
 - ④ 農業委員会の委員の任期等に関する協議

2月市議会臨時会において、合併関連議案4議案が可決されました。

合併協定書の詳しい内容については、市のホームページほか、市役所2階市政情報コーナー、市役所入口の合併情報コーナー、各公民館、市民センターや図書館でご覧いただけます。

問合せ 川口市・鳩ヶ谷市合併協議会 ☎227-7515、☎224-3866、ホームページ <http://www.kh-gappei.com>、合併推進室・内線2321、2322

3月からワクチン接種費用が無料

子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌

●子宮頸がん予防ワクチン対象者（女性）3回接種
平成22年度（3月31日まで）に接種を受ける場合

学 年	対象者の生年月日
中学校1年生	平成9年4月2日～平成10年4月1日
中学校2年生	平成8年4月2日～平成9年4月1日
中学校3年生	平成7年4月2日～平成8年4月1日
※高校1年生相当	平成6年4月2日～平成7年4月1日

※22年度に高校1年生相当の方は、22年度（23年3月中）に本助成制度を利用して1回目の接種を済ませた場合、23年度における2回目、3回目の接種についても助成を受けることができます。

●ヒブ（Hib）ワクチン対象者

接種開始時の月齢または年齢	接種回数
2か月齢以上7か月齢未満の方	合計4回以内
7か月齢以上12か月齢未満の方	合計3回以内
12か月齢以上5歳未満の方	1回

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ（Hib）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3ワクチンについて、対象者に無料で接種できるように3月から費用の助成をします。
問合せ 保健センター ☎284-2325

平成23年度（4月1日以降）に接種を受ける場合

学 年	対象者の生年月日
中学校1年生	平成10年4月2日～平成11年4月1日
中学校2年生	平成9年4月2日～平成10年4月1日
中学校3年生	平成8年4月2日～平成9年4月1日
高校1年生相当	平成7年4月2日～平成8年4月1日

●小児用肺炎球菌ワクチン対象者

接種開始時の月齢または年齢	接種回数
2か月齢以上7か月齢未満の方	合計4回以内
7か月齢以上12か月齢未満の方	合計3回以内
1歳以上2歳未満の方	合計2回以内
2歳以上5歳未満の方	1回

各ワクチンの助成期間 平成22年度＝3月1日～31日、平成23年度＝4月1日～24年3月31日

接種方法 川口医師会所属の委託医療機関で個別に接種。（別の医療機関での接種は有料になります）

※ホームページに掲載、公民館等で医療機関のリストを配布しています。または、かかりつけの医療機関などへ、直接ご確認ください。

※接種には、保護者の同伴もしくは保護者の同意が必要です。

※接種時には、母子健康手帳を持参してください。

任意接種 子宮頸がん予防ワクチン等3ワクチンは、現在のところ任意の予防接種となっています。気になることやわからないことがある場合、予防接種を受ける前に医師や保健センターに相談し、副作用についても十分納得した上で、接種を受けてください。

接種できない方 明らかに発熱している方、重い急性疾患にかかっている方、過去に予防接種で2日以内に発熱した方。子宮頸がん予防ワクチンでは、妊娠あるいは妊娠の可能性のある人、その他予診等で医師が接種に不相当だと判断した場合など。

郷土資料館特別展

埼玉高速鉄道開通10周年記念

3月29日（火）まで開催

埼玉高速鉄道が平成13年3月28日に開通して、この3月に10周年を迎えます。

郷土資料館では、これを記念し特別展を開催中です。

◆「変わる鳩ヶ谷の幻の鉄道計画から実現・地下鉄開通この10年」（後援 埼玉高速鉄道（株））

鳩ヶ谷の交通の歴史と、S R開業からの10年を、貴重な資料とともに振り返り、新たな鳩ヶ谷市と今後の姿を考えます。

◆特別展記念講演会
日時 3月19日（土）午前9時半～正午
テーマ
①「幻の武州鉄道」（埼玉高速鉄道とほぼ同じコースで計画され、蓮田～神根間が開通するも昭和13年に廃止された幻の鉄道の歴史）
②「埼玉高速鉄道・運転士の1日」（普段聞けない話もりだくさん）

講師 ①飯山實氏（武州鉄道研究者）②樋田茂義氏（埼玉高速鉄道（株）運輸部長）
定員 40人
申込み 3月5日（土）午前9時から、郷土資料館窓口または電話で

問合せ 郷土資料館 ☎283-3552、入館料は無料、開館時間：午前9時～午後4時半、3月の休館日：7日（月）・14日（月）・22日（火）・30日（水）

特別展の主な展示内容

●交通（道）の歴史：発掘調査で見られた原始・古代の道から、交通（道）の歴史をたどります。

●江戸・明治時代の旅：人が乗ったカゴなどを展示し、当時の旅のようすを再現します。

●地下鉄開通に至るまで：鳩ヶ谷周辺の鉄道の歴史を主題に、埼玉高速鉄道の前身である幻の武州鉄道を紹介します。

●完成に至る道のり：埼玉高速鉄道の計画から完成までを写真や図面ですべて紹介します。トンネルを掘削した機械の模型が見えます。

●開通記念品の展示：開通イベントに関わる記念品や、その後の埼玉高速鉄道の販売品を展示します。

●鉄道模型の世界：鳩ヶ谷駅周辺や開発前後のようすを復元したジオラマの上を鉄道模型で運転体験できます。鳩ヶ谷駅と地上のダヴの断面を実感できる模型や電気機関車運転席の实物復元もあります。

●埼玉高速鉄道の車両：埼玉高速鉄道から特別にお借りした制服・切断レール・つり広告など。

●地下鉄開通からこの10年：地下鉄が開通後、マンションが激増し、人口も初めて6万人を突破する等した鳩ヶ谷の変化のようすを示し、今後の姿を考えます。



幻の鉄道・武州鉄道の車両模型